

## 令和6年度第2回 名古屋市被災地域支援本部会議

日時：令和6年12月9日（月）

16：00～16：20

場所：東庁舎1階 災害対策本部室

### 議 題

- 1 東日本大震災に係る被災地への支援
- 2 陸前高田市との交流
- 3 令和6年能登半島地震に係る被災地への支援

# 1 東日本大震災に係る被災地への支援

## (1) 陸前高田市への職員派遣

### ア 令和6年度の職員派遣

職 務 内 容	派遣所属名	派 遣 元 局	派遣人数
防災関係業務	防 災 課	防災危機管理局	1 名

(注) 地方自治法第252条の17に基づく年間を通じた派遣

《参考》これまで陸前高田市に派遣した職員が貢献した主な事業

- ・ 財務システム及びデータの復旧
- ・ 庁内LANの構築、情報ネットワークの復旧
- ・ 被災家屋の調査、土地関係のデータの復旧
- ・ 戸籍・住民票、国民健康保険、生活保護、介護保険、家庭ごみ収集等の行政サービスの回復
- ・ 震災復興計画の策定
- ・ 農業・林道関係のデータの復元
- ・ 防災行政無線の復旧、地域防災計画の改訂
- ・ バス路線や鉄道等の交通政策の調整
- ・ 被災した保育所、子育て支援センター等の再開
- ・ 災害保健支援チームの総括、被災者に対する保健指導等の実施
- ・ 被災した小中学校の施設の応急復旧、建設
- ・ 水道事業の運営事務及び被災した水道施設の復旧
- ・ 被災中小企業の再開支援
- ・ 区画整理事業に係る調整・工事
- ・ 橋梁復旧・復興道路の整備
- ・ 高台への防災集団移転に係る調整・工事

- ・火災予防に関する技術指導等の実施
- ・新築家屋等に係る固定資産税の評価
- ・市民税等に係る申告相談受付、課税資料の処理
- ・埋蔵文化財の発掘調査
- ・新図書館の開設準備、運営面に係る指導
- ・観光交流・振興施策の推進

イ 陸前高田市への支援に対するネット・モニターアンケートの実施

本市が実施する職員派遣等の被災地支援活動について、市民の考えや評価を調査し、今後の被災地支援の参考にする。

区 分	内 容
調 査 テ ー マ	東日本大震災被災地支援活動について
期 間	令和6年10月25日（金）～11月4日（月）
対象モニター	調査対象500名に対して有効回収数429名 （有効回収率85.8%）
調 査 結 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員派遣について、「賛成」が72.5%、「どちらかという賛成」が25.2%</li> <li>・来年度以降の陸前高田市への職員派遣について、「陸前高田市の要望に即した職員派遣を継続した方がよい」が80.4%</li> </ul>

## ウ 令和7年度の職員派遣予定

### (ア) 方針

- ・被災地の復興事業の状況に鑑み、引き続き陸前高田市に対して、要請のあった職務について職員を派遣し、支援を行う。
- ・被災地域支援本部事務局職員及び派遣元局の職員が定期的に被災地を訪問し、派遣職員との情報交換、意見交換の場を設けることにより、派遣職員を孤立させないようサポートを継続する。

### (イ) 内訳

職 務 内 容	職 種	派 遣 元 局	人 数
防災関係業務	一 般 事 務	防災危機管理局	1 名

(注) 陸前高田市と名古屋市被災地域支援本部との調整に基づく現時点での見込み。年間を通じて同一職員による派遣を予定。

## (2) 報告会等の開催

### ア 市民向け講演会等

市民の理解と協力を得て、継続して被災地支援を行っていくとともに、市民の防災意識の高揚を図るため、被災地の現状や震災の教訓等を伝える取り組みを行っている。

#### (ア) 被災地派遣職員等による講演会

内 容：被災地支援を通して培った知識や経験等について、体験談を交えながら、市民へ伝えるもの。

場 所：4区（令和6年10月31日時点。今年度中に全区で実施予定。）

#### (イ) パネル展示等各種広報

- ・港防災センターでのパネル常設展示
- ・市公式ウェブサイトへの掲載

### イ 職員向け報告会

報告会を開催し、被災地支援活動を通じて得られた経験等を伝えることで、行政組織としての防災力の向上につながる取り組みを行っている。今年度については、昨年度に引き続きより多くの職員が聴講することができるよう、被災地派遣職員による報告会のコンテンツを庁内イントラネットへ掲載する形式で実施する予定である。

期 間：令和6年12月10日（火）～令和7年2月7日（金）

受講者数：250名程度

### ウ 小中学校等の防災教育における講師の派遣

陸前高田市へ派遣した職員ならびに現地の語り部を小中学校・特別支援学校へ講師として派遣し、東日本大震災の教訓等を伝え、子どもたちの防災意識の向上を図る取り組みを実施した。

実施校：5校（令和6年10月31日時点）

※令和7年3月末までにさらに14校実施予定あり。

### (3) 陸前高田市への医療支援

名古屋市立大学看護学部の推薦入試に設置された陸前高田市枠の卒業生に対してフォローアップを行うことで、看護の中核的人材の育成を図り、陸前高田市の地域医療を支援する。

#### ア 内容

陸前高田市が定めた「名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠卒業生登録制度要綱」に基づき、就職から2年目以降の卒業生に対して、名古屋市立大学病院における実習や実習結果に基づく病院職員との意見交換等を実施した。

#### イ 時期

令和6年12月3日（火）～4日（水）

#### ウ 対象者

名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠卒業生 2名

#### 《参考》

名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠の概要

区 分	内 容
対 象 者	陸前高田市に住民登録を有し岩手県気仙地区内の高等学校卒業の者
期 間	平成25年度入学～平成29年度入学の5年間
支 援 内 容	・入学検定料及び入学料、4年間の授業料を全額免除 ・名古屋市立大学が宿舍を斡旋し、家賃の一部を名古屋市と名古屋市立大学が負担
卒 業 生	10名

(4) 被災者の受け入れ支援

ア 愛知県受入被災者登録制度に基づく本市受入被災者数

令和6年10月31日現在

区 分	世 帯 数	人 数
市 営 住 宅	17 (0)	30 (0)
県 営 住 宅	3 (1)	5 (2)
民 間 住 宅 等	97 (0)	246 (0)
計	117	281

(注) ( ) 内は東日本大震災受入被災者のうち、目的外使用許可等により無償で住宅を提供されている件数(内数)。

イ 令和6年度における各局の支援実績

令和6年10月31日現在

所 管 局	支 援 内 容	実 績
財 政 局	税 務 証 明 申 請 に 係 る 手 数 料 の 免 除	16件
ス ー ツ 市 民 局	住 民 票 の 写 し 等 の 手 数 料 の 免 除	20件
	被 災 者 支 援 ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー な ご や の 運 営	相 談 65件
健 康 福 祉 局	国 民 健 康 保 険 、 後 期 高 齢 者 医 療 、 国 民 年 金	保 険 料 災 害 減 免 2 件

《参考》これまでの各局の主な支援実績

所 管 局	支 援 内 容	実 績
防災危機管理局	定期便による情報提供	157回
財 政 局	税務証明申請に係る 手数料の免除	473件
スポーツ市民局	女性のための総合相談	42件
	住民票の写し等の 手数料の免除	1,247件
	東日本大震災被災者支援ボラン ティアセンターなごやの運営	相談4,659件 交流会70回、1,845人
観光文化交流局	外国人相談	9件
環 境 局	リユース（再使用） 家具の提供	127世帯、261個
健康福祉局	生活福祉資金等の貸付	16件
	生 活 保 護	25件
	介 護 保 険	保険料災害減免等40件
	障害福祉サービス、 自立支援医療等に関する相談	54件
	予 防 接 種 の 受 付	449名
	国民健康保険、後期 高齢者医療、国民年金	保険料災害減免等379件
子 ども 青少年局	保育所への入所	17園、25名

	妊婦及び乳幼児の健康相談と健康診査等	母子健康手帳交付等40件 乳幼児健康診査52名
住宅都市局	市営住宅等の提供 〔風呂釜、コンロ、毛布、 照明器具、エアコンの提供〕	入居決定145世帯、395名 〔風呂釜 70個 コンロ 113個 毛布 232枚 照明器具 114個 エアコン 52台〕
緑政土木局	東山動植物園への無料招待	9回、282名
教育委員会	就学援助（認定件数）	63件
交通局	マナカの進呈	271世帯、457人

(注) 実績は平成23年3月11日から令和6年3月31日までの延べ総数。

## 2 陸前高田市との交流

被災地支援を契機として広がってきた交流について、市民交流団の派遣や「奇跡の一本松」後継樹の植樹を契機に定めた「絆の日」を通じて、友好都市である陸前高田市との交流を一層推進する。

### (1) 市民の交流

#### ア 市民交流団の派遣

防災、スポーツ、産業、文化の4つの分野における市民の活動を通じて、両市の市民や団体の親交を深めるため、陸前高田市へ市民交流団を派遣している。

区 分	時 期	主な内容
防 災 交 流 (防災危機管理局)	令和6年 8月20日(火)～ 8月22日(木) 9月21日(土)～ 9月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地関係者による講話</li> <li>・ 震災関連施設の視察</li> <li>・ 現地防災マイスターと防災イベントでのブース出店</li> </ul>
ス ポー ツ 交 流 (スポーツ市民局)	令和7年 2月22日(土)～ 2月23日(日) (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卓球の交流試合</li> </ul>
産 業 交 流 (経済局)	令和6年 6月10日(木)～ 6月11日(金) 11月1日(金)～ 11月4日(月) 11月13日(水)～ 11月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「食」を通じた交流</li> </ul>
文 化 交 流 (観光文化交流局)	令和6年 7月22日(月)～ 7月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンサンブル公演等を通じた交流</li> </ul>

イ 名古屋市及び陸前高田市市民交流事業補助制度

両市における市民交流の促進に資することを目的として、交流事業を実施する団体に対する補助制度を実施する。

補 助 金 額：上限10万円

交付団体数（予定）：1団体（令和6年10月31日時点）

(2) 子どもたちの交流

平成24年に陸前高田市と名古屋市の両教育委員会において締結した「絆協定」により、両市の子どもたちによる相互訪問等を通して交流を深めるとともに、両市の将来のまちづくりを担う人材の育成を図る。

また、令和4年度で交流10年の節目を迎えたことから、これまでの事業参加者（以下、「センパイ」という。）も中学生とともに陸前高田市を訪問することにより、生徒たちの防災学習を充実させつつ、両市の絆を一層強め、防災人材を育成する取り組み「絆交流 with S（センパイ）プロジェクト」を実施し、令和5年度以降も絆交流に参画し、中学生交流の企画立案や運営を行うなど、これからの絆交流の担い手として育成するための活動「絆交流team S（センパイ）プロジェクト」として実施している。

ア 本市の中学生による陸前高田市訪問

（センパイは引率補助者、企画進行役として同行。）

区 分	内 容
実 施 期 間	令和6年8月20日（火）～8月22日（木）
訪 問 者 数	本市中学生36名 千種区3校、東区1校、北区2校、 西区2校、中村区3校、中区1校、 昭和区2校、瑞穂区1校、熱田区1校、 中川区3校、港区2校、南区2校、 守山区3校、緑区4校、名東区3校、 天白区3校 各1名 センパイ15名（市民交流団として参加を含む）
主 な 行 程	<1日目> 両市中中学生によるひろたハマラインパーク（岩手県立野外活動センター）での交流、中学生交流会 <2日目> 奇跡の一本松ホールでの歓迎式及び講話 陸前高田市中中学生による案内活動（東日本大震災津波伝承館や奇跡の一本松等） 震災遺構の見学 <3日目> かき養殖体験 元陸前高田市立中学校長とのお話し会

生徒の主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害はいつ起こるかわからないため、学校では避難訓練の際、1回1回を真剣に行い、日頃からハザードマップを使い災害時の行動を確認していくことが必要だと思いました。</li> <li>・自然災害というのはある日突然やってきて人々から日常を簡単に奪ってしまう、恐ろしく逆らえないものだと思いました。同時に知識があることの大切さ、備えがあることの重要性、技術があることの必要性を痛感しました。</li> </ul>
--------	--

イ 陸前高田市の中学生による名古屋市訪問（予定）

区 分	内 容
実 施 期 間	令和7年1月7日（火）～1月9日（木）
訪 問 者 数	20名
主 な 行 程	<p>&lt; 1 日 目 &gt; 正副議長及び市長への表敬訪問 本市中学生による市内案内活動</p> <p>&lt; 2 日 目 &gt; 職場体験、名古屋城にて本丸御殿見学及び中学生交流会、両市交流団及びセンパイらとの夕食会</p> <p>&lt; 3 日 目 &gt; 「奇跡の一本松」後継樹の見学及び東山動植物園見学</p>

### (3) 産業交流

#### ア 陸前高田市で開催されるイベントへの出展

陸前高田市産業まつりにおいて、なごやめしの提供を行う名古屋市ブースを出展し、陸前高田市民や地元事業者との交流を図った。

#### イ 本市で開催されるイベントへの出展

名古屋まつりに出展を行い、陸前高田製品の販売やPRを実施した。

#### ウ 自動販売機による陸前高田市製品の販売

名古屋市中小企業振興会館にて自動販売機による陸前高田製品の販売を実施

#### エ 「絆の日」記念交流イベントへの出展

3月23日に実施される「絆の日」記念交流イベントにおいて、陸前高田市の産品を名古屋市の事業者が加工した商品の紹介を実施する予定。

### (4) 文化交流

#### ア 市民美術展等での相互展示

両市で開催されている市民美術展等において、両市の市民の優秀作品を隔年で相互に展示し、交流を図るもの。今年度は名古屋市で開催される市民美術展において、陸前高田市で開催された陸前高田市民芸術祭の優秀作品を展示した。

期 間：令和6年11月19日（火）～11月24日（日）

展示作品：陸前高田市民芸術祭の優秀作品を名古屋市民美術展において展示

## イ イベントにおける郷土芸能の披露

「絆の日」記念交流イベントにおいて、陸前高田市の芸能団体を招待し、名古屋市民の前で郷土芸能を披露する予定。

## ウ 陸前高田市立博物館との交流

リニューアル改修のために臨時休館中の名古屋市博物館と友好館提携をしている陸前高田市立博物館において、令和5年11月から令和8年秋頃までの間、名古屋市博物館収蔵資料「考える人」の像の展示を行っている。

(5) 「絆の日」に関する取り組み

「奇跡の一本松」後継樹の東山動植物園への植樹を契機として定めた「絆の日」について、令和7年3月23日（日）を中心として交流事業及び防災啓発事業を実施する。

区分	主な内容（予定）	場所
交流事業	「絆の日」記念交流イベント（3月23日実施） ・ 陸前高田市出身アーティストによる被災松カホンの演奏等 ・ 陸前高田市グルメ応援大使による陸前高田市グルメのPR ・ 陸前高田市との交流PR動画放映 ・ 陸前高田物産ブース出展 ・ 食の産業交流ブース出展 ・ 「奇跡の一本松」の根の展示	オアシス21
	交流10周年記念踊り曲の庁内放送	市役所庁舎
	陸前高田物産ブース出展	名古屋城
	三陸産食材を使用した献立の提供	小中学校等
	植物園長による“絆の日”特別ガイド	東山植物園
防災啓発事業	各種媒体を用いた広報	市内各地
	友好都市陸前高田市との「絆の日」PRパネル展示 PR動画「名古屋市×陸前高田市“絆”」の放映	区役所等
	民間施設における「絆の日」啓発ポスター掲示	市内大規模郵便局
	「絆の日」企画展	港防災センター
	防災クイズラリー	水の歴史資料館

《参考》

陸前高田市における主な取り組み（予定）

- ・ 「奇跡の一本松」のライトアップ
- ・ 市役所庁舎における「絆の日」PR動画の放映

(6) 東日本大震災津波伝承館と連携したオンライン授業

本市の小中学校等における防災教育の充実を図ることを目的として、東日本大震災津波伝承館が所有するコンテンツについて現地解説員から直接学び、防災意識を高めるオンライン授業を実施する。

実施校	実施日	参加者
供米田中学校 (中川区)	令和7年1月30日 (予定)	1～3年生 及び教職員

(7) 防災担当職員の現地派遣研修

各区の防災担当職員や防災危機管理局職員を陸前高田市へ派遣し、陸前高田市民及び職員との交流等を通じて学んだ地域防災の知識や教訓等を本市の防災対策に活用するとともに、防災人材の育成・強化を図った。

区 分	時 期	人数	主な内容
区 職 員	令和6年 7月17日(水)～ 7月18日(木)	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の行政関係者による講話・質疑</li> <li>・東日本大震災津波伝承館や震災遺構等の視察</li> </ul>
防 災 危 機 管 理 局 職 員	令和6年 11月9日(土)～ 11月11日(月)	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅体験館における宿泊体験</li> <li>・東日本大震災津波伝承館や震災遺構等の視察</li> <li>・現地津波避難訓練への参加</li> <li>・陸前高田市職員との交流ワークショップ</li> <li>・現地市民等へのインタビュー</li> </ul>

### 3 令和6年能登半島地震に係る被災地への支援

#### (1) 令和6年度の職員派遣

##### ア 七尾市への職員派遣

職務内容	派遣所属名	派遣元局	派遣人数
市有建築物災害復旧支援業務	都市建築課	住宅都市局	1名
公園等災害復旧事業支援業務	都市建築課	緑政土木局	1名
宅地災害復旧支援業務	都市建築課	緑政土木局	1名
上水道復旧支援業務	上下水道課	上下水道局	1名
下水道復旧支援業務	上下水道課	上下水道局	1名
保健活動業務	健康推進課	健康福祉局	1名
計			6名

##### イ 珠洲市への職員派遣

職務内容	派遣所属名	派遣元局	派遣人数
上水道復旧支援業務	環境建設課	上下水道局	1名
下水道復旧支援業務	環境建設課	上下水道局	1名
計			2名

(注) 地方自治法第252条の17に基づく年間を通じた派遣

(参考)

・令和6年能登半島地震に係る短期派遣

業務内容	対応部局	従事人数 (延べ)
避難所運営支援関係・公費解体関係・被災者生活再建支援窓口関係・罹災証明書発行関係・応急仮設住宅関係	各局室区	748名
総括支援	防災危機管理局	54名
避難所運営マネジメント	防災危機管理局	28名
家屋被害認定調査	財政局	235名
災害廃棄物収集	環境局	56名
公衆衛生看護活動	健康福祉局	36名
被災建築物・被災宅地応急危険度判定	住宅都市局	13名
緊急消防援助隊	消防局	935名
応急復旧、応急給水	上下水道局	690名
下水道復旧支援、被害状況調査等	上下水道局	298名
その他		92名
計		3,185名 (うち、七尾市は1,505名)

・令和6年奥能登豪雨に係る短期派遣

業務内容	対応部局	従事人数 (延べ)
緊急消防援助隊	消防局	163名
被害状況調査、応急復旧、応急給水等	上下水道局	196名

- ・その他、令和6年能登半島地震に関し、各局区室において受入被災者に対しての支援を実施した。

(2) 令和7年度の職員派遣予定

ア 七尾市への職員派遣予定

(ア) 方針

- ・被災地の復興事業の状況に鑑み、引き続き七尾市に対して、要請のあった職務について職員を派遣し、支援を行う。
- ・被災地域支援本部事務局職員及び派遣元局の職員が定期的に被災地を訪問し、派遣職員との情報交換、意見交換の場を設けることにより、派遣職員を孤立させないようサポートを継続する。

(イ) 内訳

職務内容	職種	派遣元局	人数
市有建築物災害復旧支援業務	建築 (公共営繕・災害公営住宅)	住宅都市局	1名
公園等災害復旧事業支援業務	土木(公園)	緑政土木局	1名
宅地災害復旧支援業務	土木と建築 (宅地防災)	緑政土木局	1名
上水道復旧支援業務	土木(上水道)	上下水道局	1名
下水道復旧支援業務	土木(下水道)	上下水道局	1名
計			5名

(注) 七尾市と名古屋市被災地域支援本部との調整に基づく現時点での見込み。年間を通じて同一職員による派遣を予定。

## イ 珠洲市への職員派遣予定

### (ア) 方針

- ・被災地の復興事業の状況に鑑み、引き続き珠洲市に対して、要請のあった職務について職員を派遣し、支援を行う。
- ・被災地域支援本部事務局職員及び派遣元局の職員が定期的に被災地を訪問し、派遣職員との情報交換、意見交換の場を設けることにより、派遣職員を孤立させないようサポートを継続する。

### (イ) 内訳

職 務 内 容	職 種	派 遣 元 局	人 数
上水道復旧 支援業務	土木（上水道）	上下水道局	1 名
下水道復旧 支援業務	土木（下水道）	上下水道局	1 名
計			2 名

(注) 珠洲市と名古屋市被災地域支援本部との調整に基づく現時点での見込み。年間を通じて同一職員による派遣を予定。